



JA紀南 気象データ

## 令和4年 中晩柑類栽培暦

J A 紀 南  
西牟婁振興局農業水産振興課監修  
令和3年11月作成

肥 培 管 理	(土づくりは、みかん栽培暦に準ずる)			
	3月上旬中旬	6月上旬	9月上旬	10月中旬～11月上旬
不 知 火	完熟みかん配合 120kg	完熟みかん配合 100kg	完熟みかん配合 100kg	完熟みかん配合 80kg
清 見	紀南柑橘配合 100kg	紀南柑橘配合 100kg	紀南柑橘配合 80kg	紀南柑橘配合 100kg
ポ ン カ ン		紀南柑橘配合 80kg	(9月下旬～10月上旬)	紀南柑橘配合 80kg
八 甘 朔 夏	紀南柑橘配合 140kg	有機化成特 A805 60kg	紀南柑橘配合 100kg	完熟みかん配合 100kg
バレンシア	完熟みかん配合 80kg	(収穫後) 紀南柑橘配合 120kg		

完熟みかん配合 (6-7-4) 有機率 87.5% 有機化成特A805 (10-6-7) 有機率 40.0% 紀南柑橘配合 (7-6-5) 有機率 55.5%  
 ※リン酸過剰園では 絆ペレット (8-3-4) 有機率 65.0% こだわりオール有機 (7-2-4) 有機率 100.0%

月	病虫害名	薬 剤 名	倍 数	使用基準		備 考
				収穫前日数	使用回数	
3	かいよう病(発芽前) ミカンハダニ	ICボルドー 66D アタックオイル	60倍 80倍	— 3月	— —	収穫の終わった品種に使用
4						かいよう病多発園ではICボルドー66D 80倍 (必ずアピオン-E 1000倍を加用する)
5	コアオハナムグリ、ケシクスイ類 (開花初期)	マブリック(水)20 (マブリックとボルドーの混用を避ける)	2000倍	45日前まで	2回以内	ミツバチに影響する薬剤の使用はひかえる 梅雨の黒点病防除時にアピオン-E 1000倍を加用 (但し、マシン油乳剤使用時には混用しない)
	灰色かび病、そうか病	ストロビドドライブフロアブル 又は ナティーボフロアブル	2000倍	14日前まで	3回以内	
	黒 点 病 (昨年発生園)	エムダイファー(水)	600倍	前日まで	3回以内	
	カイガラムシ類(幼虫) (ナシマルカイガラムシ)	アプロードフロアブル	1000倍	90日前まで	2回以内	
	かいよう病(新葉硬化頃)	ICボルドー 66D	80倍	—	—	チャノホコリダニの発生に注意(果実に灰白色のコルク状の被害) サンマイト(水)3000倍 3日前まで/2回以内 バレンシアの5月～6月の黒点病にはナティーボフロアブル1500倍 収穫前日まで/3回以内 かいよう病には、ムッシュボルドーDF500倍+クレフノン200倍
6	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル (マシン油乳剤との混用不可)	2000倍	21日前まで	2回以内	6月～9月のかいよう病多発園では、 コサイド3000 2000倍+クレフノン200倍 (ただし、葉付き収穫する品種は注意) 又はマイコシールド1000倍30日前まで (温州みかんは60日前まで) 2回以内
	カイガラムシ類	トランスフォームフロアブル	2000倍	前日まで	3回以内	
	黒 点 病	エムダイファー(水)	600倍	90日前まで	2回以内	
	ゴマダラカミキリ成虫	アクセルキングフロアブル (目に刺激あり、注意) 又は アクタラ顆粒(溶)	2000倍 4000倍	7日前まで 14日前まで	2回以内 3回以内	
	黒 点 病 ミカンサビダニ アザミウマ類	ペンコゼブ(水) アグリメック	600倍 2000倍	90日前まで 7日前まで	4回以内 3回以内	ミカンサビダニは6月から11月まで発生に注意する
7	カイガラムシ類 黒 点 病	エルサン(乳) ペンコゼブ(水)	1000倍 600倍	14日前まで 90日前まで	2回以内 4回以内	
8	チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル	4000倍	前日まで	2回以内	(不知火) 降雨が少ない年は10月まで灌水 夏の干ばつは品質低下の原因になる
	ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2000倍	前日まで	1回	
	黒 点 病	ペンコゼブ(水)	600倍	90日前まで	4回以内	
9	<多雨が予想される場合> 黒 点 病	ナティーボフロアブル	1500倍	前日まで	3回以内	カメムシ類多発園ではスタークル顆粒(溶)2000倍前日まで/3回以内
10	ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	4000倍	前日まで	1回	ホコリダニ同時防除の場合は、スターマイトフロアブル 3000倍7日前まで/1回(ベフラン液剤との混用は、先に スターマイトフロアブルを溶かし、必ずかくはん機を使用する)
11	青かび病・緑かび病	トップジンM(水) 又は ベフラン(液)25	2000倍 2000倍	前日まで 前日まで	5回以内 2回以内	トップジンM(水)は葉斑に注意する へた落ち防止、後期落果防止 (マデックEWの使用方法は下の欄参照)
	ヤノネカイガラムシ ハダニ類(越冬卵)	機械油乳剤95	45倍	冬期	—	袋掛け直前は機械油乳剤95の散布を控える この時期は品種により散布を検討する

★土壌診断を行い、適正施肥に努めよう！

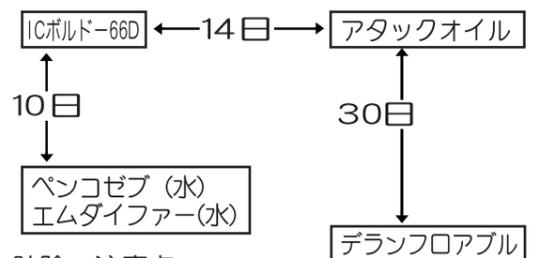
農業中毒の相談は日本中毒情報センター(大阪)TEL072-727-2499(24時間対応)

★腐敗対策を徹底しよう！

上記以外に登録のある農薬(抜粋)				
病虫害名	薬 剤 名	倍 数	収穫前日数	使用回数
黒 点 病	ジマンダイセン(水)	600倍	90日前まで	4回以内
ペンコゼブ(水)とジマンダイセン(水)の使用回数は合わせて4回以内				
カイガラムシ類	モベントフロアブル	2000倍	7日前まで	3回以内
チャノキイロアザミウマ カイガラムシ類	コルト顆粒(水)	3000倍	前日まで	3回以内
かいよう病	クプロシールド	1000倍	—	—
青かび病・緑かび病	ベンレート(水)	4000倍	前日まで	2回以内

マデックEWの使用法				
作物名	使用目的	倍 数	使用時期	総使用回数
かんきつ	へた落ち防止	2000倍	収穫開始予定日の20～10日前	1回
	後期落果防止	3000倍	着色期から 収穫20日前まで	

## 前後の散布間隔



## 防除の注意点

- 隣接園、早期収穫品種への飛散に注意。
- ドリフト対策として、防風垣・防風ネットの整備を行う。
- 防除器具の洗浄を行う。
- 生産履歴の記録は収穫後より始まります。
- 本防除記載の農薬の登録内容は令和3年10月31日現在です。